

〈吹田市民プール指定管理者候補者選定委員会（第2回） 議事概要〉

1 開催日時 令和5年（2023年）8月23日（水）午後1時00分～3時30分

2 開催場所 吹田市役所低層棟3階 入札室

3 会議次第

- (1) 開会
- (2) 応募状況について
- (3) 「安全な管理運営が可能な財政的基盤」について見解説明
- (4) 審議
- (5) 採点
- (6) 指定管理者候補者及び次点者の選定
- (7) 答申
- (8) その他

4 出席委員

大島 博文 （大阪成蹊大学 経営部 教授）  
北詰 恵一 （関西大学 環境都市工学部 教授）  
柳瀬 真佐子 （NPO 法人市民ネットすいた 理事長）  
孫田 眞理子 （吹田市こども会育成協議会 副会長）  
鷺 明美 （近畿税理士会 吹田支部）

5 出席者（事務局）

西田 立夏 文化スポーツ推進室長  
金 哲 文化スポーツ推進室参事  
大村 貴之 文化スポーツ推進室主幹  
及川 きらら 文化スポーツ推進室係員  
村上 紗英 文化スポーツ推進室係員

6 会議進行

事務局 【選定方法、事前評価について説明】

委員 【財務内容についての見解】

団体A 【団体A入場】

団体A 【事業計画書等の説明】

委員 決算報告書内の貸借対照表を見ると12億6千万円程の借入れがありますが、  
どういった内容ですか。

次に、水道光熱費の削減について、どのような取組を行っていますか。  
最後に、収支計画書に記載の共済費の内容について教えてください。

団体A 借入れにつきましては、新築のプールを4年連続で建設し今年度にも建設を予定している施設があることから増えています。20年間の長期事業計画を作成し、施設の改修も行っておりますが、1年目から黒字となっているので御安心ください。

2点目については、給湯設備等のタイマーセットを手動で行い、お客様がシャワーを使用して終わるまでの時間やタンク内の水量を推測し早くシステムを切るという作業を進めることや、節水シャワーの取付け、電球のLED化を行い消費エネルギーの削減を行っています。プールの逆洗をする場合も、機械でタイマーセットを行うと無条件で10分間の逆洗となりますが、目視で行うことで、例えば冬場の利用人数が少ない時には、6分間へ変更することで水道代の削減に努めています。

共済費については、福利厚生費として約13%を人件費に上乗せしています。

委員 わかりました。ありがとうございます。

委員 子供から大人、高齢者を対象に事業をされており、「笑涯施設」という方針で事業を行われていますが、具体的な事業内容について教えてください。

団体A ベビーからシルバーまで幅広い世代を対象にしたスイミングスクールをメインの事業として行っています。水泳に必要なテクニックを磨くためだけではなく、体の使い方を学び、将来的には身体能力や基礎体力の向上につながるような取組や、時間をかけてお客様と一緒に健康づくりの取組を行うことで一生かけて笑って過ごしていただけるよう目指しています。

また、新型コロナウイルスによりイベントの実施が難しい状況でしたが、地域に密着したイベント等開催し、御参加いただきたいと考えています。

委員 第三者機関によるモニタリングを実施すると記載されていますが、具体的にどういったところによる実施を想定していますか。

利用者相談窓口の設置と書かれていますが、どのような相談を想定されていますか。

利用者懇談会では、利用者と双方向のやり取りを行うことで施設のより良い運営を目指すものだと思いますが、どのような利用者が参加しその代表者はどのように決めるのですか。

合宿誘致による施設の活用を提案されていますが、収入を伴う誘致でしょうか。

団体A モニタリングにつきましては、第三者機関としてモニタリングを実施している事業者も多くあり、例えば電話対応や施設設備の管理ができているか、他者からモニタリングを受けます。また、セルフモニタリングも実施し、独自の成果をモニタリングで評価します。最終的には吹田市のモニタリングを受け、三段階で評価し改善策を考えていきます。

よく施設を利用していただいている方をはじめ様々な方に話を聞きながら、どこが良いか悪いか、どのような改善を行えば、施設が良くなるか、聞き取りを進めていきたいです。

合宿誘致に関しましては、収入を想定した実施を考えています。

委員 合宿誘致の収入については、収支計画書のどの項目で算出されていますか。

団体A 今回その算出が抜けており申し訳ございません。合宿誘致を行いたいという思いはありますが、わくわくの郷に相談をした際に、これまでそういった取組の事例がないとお聞きし、実際に施設が使用できるかどうかわからない部分があったため収支計画書の算出には含みませんでした。

委員 市内には多くの施設があり、合宿誘致の際に競争力があまりない場合や応募が少ない場合もあるかと思いますが、誘致上の競争力についてはどのように考えていますか。

職員とアルバイトさんの仕事や役割を教えてください。また、アルバイトの時間単価は最低賃金からどれぐらい上乗せしていますか。

広報・宣伝活動について、障がい者の方等への広報は、平等・公平利用という立場に立って、きめ細かく情報伝達しないと伝わらないと思いますが、そういう観点からの広報や宣伝についてどのように考えていますか。

団体A 競争力をベースに合宿誘致を考えているわけではありません。競争力が高いからイベントを行うのではなく、とにかく吹田の施設を知っていただきたいという思いがあり、その中で、私どもが一番得意とする分野の合宿誘致を行いたいと考え提案をしています。

職員は、責任者、統括責任者、夏期プールの責任者、主任監視員の役割を充てており、アルバイトは、社員も同様の業務を一緒に行いますが、受付や監視を行います。清掃は職員全員で実施します。



また、ユニバーサル研修を実施し教育を進めていこうと考えています。

委員 地域連携について、地域団体との連携の質を高めていく必要がありますがどのようなコミュニケーション取られていますか。

防犯カメラや防犯ブザー設置の提案をされていますが、今までは設置をされてないということですか。

また、新しい取組として提案されているナイトプールは、関東の市民プールでも実施しておりニーズが高い事業なのでイメージが付きませんが、ラグジュアリースペースの設置については、提案に至った背景や具体的な取組内容について教えてください。

団体B 防犯カメラ等は現状も設置していますが、プールの天井からプール全体を監視できる場所への設置がないため新たに増設します。

ブザーについては、緊急時に利用者がブザーを押して危険を知らせることが可能となるようなシステムを構築しようと思っています。

地域団体との連携については、吹田市水泳連盟がプールの教室事業を実施しており、教室については利用者の反応や声を聞きながら継続していくことが望ましいと考えています。

また、スタジオで教室を実施している吹田市体育協会とは、定期的に打合せを行っており、教える側と受ける側の間に立って両者の意見を聞き、より良い事業を実施していきたいと考えています。

ナイトプールについては、関西圏で指定管理を行っている京都の伏見や大阪の柏原市で実際に自主事業として行っており、どちらもすごく盛況です。

ラグジュアリースペースについては、主に屋外のプールで利用者から日影が必要だという声や要望が多かったため、日影で座るスペースを確保し利用していただきたいと思い提案しました。

委員 代表企業と構成企業の2者での管理運営にはメリットもあればデメリットもあると思います。メリットは御説明いただいたとおりそれぞれの専門性がいかさかれるという点です。

デメリットは、役割分担として、専門的な部分を超えた業務があった場合に生じるかと思いますが、どの部分の業務をどちらが実施するかなど役割分担について話し合いはありましたか。

次に、宣伝や広報活動について、障がい者の方等特定のニーズを必要とする方にはどのように情報を届けるのですか。

団体B まず1点目についてですが、施設内に代表企業と構成企業の2者が常駐しており、意思決定は、両者で総括責任者と責任者、プール責任者を設け大枠で取り決めを行うので、両者交えて緊急性に応じて業務を取捨選択しながら、施設の運営を行っていきたいと考えております。

2点目についてですが、ホームページではユニバーサルフォントの使用や、大中小で文字の大きさを変える機能、読み上げ機能を導入する予定です。また、受付でタブレットを使って筆談ができるようにする等アイテムを使い、できる限りお客様の目線に立ったサービスができるように考えています。

委員 経費の中で光熱水費が高いと思いますが、光熱水費を削減するような方策はありますか。

団体B 電気代については、電力効率を考え、団体で持っているスキルを活用し削減に努める予定です。プール施設ですので、水の削減は難しい部分がありますが、削減案として、電気についてはこまめな消灯などを継続していこうと考えています。

委員 職員とアルバイトの雇用や人員配置について教えてください。

団体B 責任者ポストには本社の正規職員を配置します。アルバイト職員については、現在働いている方を継続して雇用する計画をしています

委員 新しい提案をされていますが、収支計画書のどの部分に積算されていますか。

団体B 基本的にレンタルカリースを予定しており、収支計画書の中の支出の役務費の項目の通信運搬費に Wi-Fi 導入の費用や防犯カメラの導入費用を計上しています。

委員 防犯カメラを新しく設置することでモニターで監視する人の配置や人件費については考えていますか。

団体B 事務所にモニターを設置し確認できるようにして事務所内にいる2・3名の職員がチェックする形をとる予定です。また、プールサイドの監視員もタブレット等で確認できるようにシステムを構築する予定です。

団体B

【団体B退場】

(暫時休憩)

**【採点結果集計表配布】**

事務局 【評価点数の合計が 60 点以上である委員が半数以上であったため選定対象となる基準を満たしていることを報告】

委員長 本選定委員会としまして、「南海・サンアメニティ共同事業体」を吹田市民プールの指定管理者候補者、「団体 A」を次点者とするに御異議ございませんか。

全委員 異議なし。

委員長 ただ今の決議により、吹田市民プール指定管理者の候補者及び次点者を決定いたしました。

**【答申書手交】**

事務局 **【今後の予定について説明】**

**【閉会】**